

NPO法人びーのびーの2012年度事業報告書

2012年4月1日～2013年3月31日

第1 1年を振り返って

おやこの広場びーのびーの、港北区地域子育て支援拠点どろっぴとともに利用対象年齢児の利用者数が前年度より増え、それぞれの居場所が混み合う日々が見受けられた。港北区における乳幼児家庭が生まれたら拠点に出向こうという感覚が根づいてきた感もあり、地域子育て支援拠点事業の拡がりを実感できる1年であった。

びーのびーのでは新たに地域担当を置き、どろっぴ地域担当との連携の中でひろば周辺地区に出向き、地域の子育て資源と繋がることができた。また法人理事の関係から区内北部の高田地区にどろっぴ出張ひろば事業として年度下期からサポートしてきた場が新年度から正式に「たかたんのおうち」として常設型ひろばが新生し、成果が結実していった。

企画室事業については定型事業以外の収益事業として、関係各方面からの制作受注が増え、ちらしや他機関のHP作成など事業の拡がりを持てた実績は大きい。一方でスタッフ内の人事異動含め、スタッフ雇用環境が大きく変化する年でもあった。安定的雇用の継続も含めた法人全体の中長期計画づくりには未着手のままであることから、会員と意見交換しながら構築することが課題として残されている。

法人として続けてきた在宅家庭に向けたグループ保育事業ゆーのびーのも利用者親子とスタッフとの絆を深めながら無事終了し、新しい場所でのまんまーる事業も開設準備として新たに関わるスタッフと共に創り出すことができた。在宅家庭支援における預かりのあり方を模索する1年であると共に、様々な事業の根幹を支える法人事務局体制の強化の必要性も求められた1年であった。

第2 2拠点の成果

1 子育て支援施設「おやこの広場びーのびーの（菊名ひろば）」

（横浜市こども青少年局委託事業 親と子のつどいの広場事業）

（1）基本データ

① 対象	未就学児とその家族
② 実施場所	横浜市港北区篠原北 1-2-18
③ 開催日時	月火木金 9時～16時 水 13時～16時30分 第1、3土 10時～14時
④ 平均開設時間	6時間
⑤ 年間利用者総数	7,655人
⑥ 1日あたりの平均利用者数	31.1人

（2）事業概要

- ① 子育ておやこの交流、つどいの場の提供
- ② 子育てに関する相談、援助の実施
- ③ 地域子育て関連情報の提供
- ④ 子育て支援に関する講習の実施
- ⑤ 一時預かりの実施

（3）1年間の報告

- ① ひろばが「もうひとつの家」としてどんな親子にとっても居心地のよい場であり、それぞれの親子のリズムで過ごせる場になるように心がけた。
- ② スタッフは利用する親子に寄り添いコミュニケーションを大切にし、子どもたちがありのまま育っていけるようにサポートすることを心がけた。
- ③ 地域担当を設けて地域との交流を積極的におこないサロンや赤ちゃん会に参加し、町内会や民生委員の方々とのつながりを築いた。
- ④ ひろばの一時預かりが必要とされる中、スタッフを3人体制に整えたことで当日の緊急預かりを受けることができ、より細やかな預かりを行うことができた。またそれぞれの親子の状況に寄り添った預かり時間を提供できるように努めた。

(1) 基本データ

① 対象	主に0歳から3歳までの未就学児とその保護者
② 実施場所	横浜市港北区大倉山3-57-3
③ 開催日時	火曜～土曜（祝日と年末年始及び特別休館日を除く） 9時30分から16時
④ 平均開設時間	6時間30分
⑤ 年間利用者総数	32,811人（子ども17,487人、保護者15,324人）
⑥ 1日あたりの平均利用者数	133人（子ども71人、保護者62人）

(2) 事業概要

横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として2006年3月に開設。6つの要綱（①親子の居場所、②情報収集・提供、③ネットワーク、④子育て相談、⑤人材育成、⑥子育てサポートシステム）に総合的に取り組むための拠点として運営している。

(3) 1年間の報告

① 親子の居場所

多様な親子のニーズが増える中、同じニーズ、共通課題を持つ親同士のつながりを作るためのプログラムを構築し、親同士が支え合える場としてのコーディネートを実施。利用者が得意分野を活かし、居場所の環境作りから参画できる場所を提供し、共に築く場であることを投げ掛けてきた。

② 情報収集・提供

地域訪問では拠点がもつ情報を持参し、来所が困難な方も含めて必要な情報が入手できるように配慮。イベントではスタッフが出向くと同時にパネル展示も行い、拠点の周知に努めた。ココメールの周知を始め、子育て支援従事者からの情報入手も積極的に行い、双方が情報交換できる仕組みを構築。

③ ネットワーク

新たなネットワークの形を構築し、各ひろばでの情報共有をするとともに、年度末には、研修とスタッフ交流を実施した。

④ 子育て相談

状況に応じて個別相談につなぎ、その後のフォローについては、相談スタッフとの連携の中で進めている。昨年度のニーズの高さから、乳児を持つ家庭へのプログラムを実施。また、被災者の方のためのサロンも開催した。

⑤ 人材育成

子育て家庭からのボランティア登録も増え、親子ボランティアによるプログラムも企画・実施した。定期的にひろばに入る一般ボランティアさんもあり、その曜日の顔をなっている。ボランティア、保育スタッフ、子育てサポートシステム両方提供会員の連動ができています。

⑥ 子育てサポートシステム

24年度、港北区サポートシステム会員数は1301名。全市内の14%を港北区が占めた。毎月平均約520件の援助件数であった。月1回の入会説明会は毎回、前月時点で定員に達し、個別説明会もほぼ毎日のように行い、地域ケアプラザ、トレッサ横浜イベントなどでの出張説明会も年間通して合計6回実施。会員相互のコミュニケーション手段として交流会（年2回開催）、アンケート（1回）実施、広報誌の発行（年3回）を行った。事前打ち合わせの同席だけでなく、特別な配慮を要する援助活動、ひろば預かり、おためし保育など援助会員に対するサポートもひろばスタッフや相談員との連携を深め充実するよう取り組んだ。

第3 6事業の成果

1 グループ保育「ゆーのびーの」

(1) 基本データ

① 対象	2歳～3歳（幼稚園年少の年齢まで）
② 定員	12名
③ 実施場所	菊名ひろば（横浜市港北区篠原北1-2-18）
④ 開催日時	毎週水曜日 9:30～13:00
⑤ 開催回数（年間）	40回

(2) 事業概要

毎週水曜日、9:30～13:00のグループ保育。同年齢の子供同士が兄弟のような関係性を育み、公園などの地域資源を活用しながら自然を感じることで遊べる遊びを展開。大勢で食べることの楽しさを体感する目的で月1回の料理も実施。親支援の視点も大切にしながらかつ親同士の支え合いを育み、商店街や近隣またひろば利用者からの理解を深めながら行った。

(3) 1年間の報告

週1回の保育だが1年間の関係性で子どもたちは逞しく成長した。同時に親支援、子どもの就園支援等も行ったことで、親同士の仲も深まり、良い関係性が築けていることを感じた。

2 出版・制作・企画事業

(1) 「びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」の発行事業（年1回）

2013年度入園版発行（5月31日）。2500部/202ページ/830円 掲載園：港北区全域、鶴見区・神奈川区・都筑区・緑区・川崎市の一部の幼稚園・保育園（全135園）

防災の意識の高まりを受けて園情報に「防災・防犯対策について」を新設。特集に「震災時に学んだ、家庭・園・地域とのつながり」を組み入れた。

(2) 制作

パンフレット、HP、チラシ、名刺、屋外看板デザイン作成。（たんぼぼ保育園、協働の新たなステージへの環境創出事業協議体、NPO法人ナルク東横浜、横浜市幼稚園協会都筑支部）

(3) その他

法人ロゴタイプ・マーク制作・HPリニューアル（制作期間約6ヶ月、HPリニューアルにあたっては法人のコンセプト整理からスタート）。預かり保育まんまーるロゴタイプ・マーク制作。ロゴタイプ・マークは全体会にて投票の機会を持つ。横浜市幼稚園協会都筑支部イベント事務局。

3 インターネット事業

(1) 港北区子育て応援マップココマップ（ウェブサイトの編集・制作・運営）

港北区社会福祉協議会委託事業/0歳～6歳までの子どもの子育て情報に特化した子育て応援サイト。イベントなど地域の情報を提供。登録編集委員：26名、編集会議/月1回。更新/トップ24回、イベント・クチコミ情報48回、特集ページ、季節情報など6回。

(2) トレッサ横浜HP内「とれおんパーク」ブログ記事制作 トレッサ横浜委託事業

掲載内容事前打合せ（月1回トレッサ横浜）。ブログ以外の連携：イベントの協力、グループインタビュー参加など。更新記事：計165本。

4 事務請負・コンサルティング事業

(1) 子育てタクシー

サンタクシー株式会社による「子育てタクシーサービス」と提携。連絡会開催、各種研修などの連携、意見交換、イベント・朝礼への参加。子育てタクシーかわら版編集。

(2) 子どもと保育総合研究所事務局

子どもと保育総合研究所の事務局としての機能（会員管理、各種事務手続き、ブログ管理、セミナー開催のお手伝いなど）。夏季全国大会（8月17日、18日）、冬季セミナー（1月13日、14日）、ニューズレター2回発行、研究報告書1冊発行。

5 わくわく子育てサポーター事業

学生ボランティアによる乳幼児家庭への育児支援事業。

2012年度は事前研修会の開催、活動終了後の家庭・学生交流会の開催、参加学生への連絡を含めインターンが参画。研修会での配布資料なども網羅した報告書を作成。

述べ実績66回・参加学生38人・参加家庭20世帯。

6 菊名WARA・びー実行委員会

8月8日（水）、「港北区地域のチカラ応援事業」として行われた「大豆戸菊名打ち水大作戦」に実行委員として参加。子どもたちは地域の方々と打ち水、太鼓を楽しみ、境内ですいかを食べ日本の夏を満喫。

第4 その他

1 びーのびーの通信の発行

平成24年は2回の合併号を含む年10回の発行。7月号からリニューアル紙面となり、「ゆーのびーの風景」が3Pから4Pへ移動。カレンダーも大きくなり読みやすい紙面となった。

2 絵本部会

- 1) 菊名ひろばの絵本の管理。隔月で、ちょっと企画をプラスしたおはなし会を行った。
- 2) 港北図書館を通じて、地域での活動をすると共に他団体との連携を図った。

3 法人独自インターンシップ受け入れ

インターン生4名が主にどろっぷ事業を中心に、わくわく子育てサポーター事業・ポラリーグ・特別なニーズに対する支援について担当を持ちながら法人全体事業にも関わった。

4 「ひろば」人事業

ひろば人事業としては2年目。5組7人の参加があった。運営する2ヶ所の施設見学、法人概要の説明に加え、実際の地域子育て支援活動の実務体験の機会提供として実施した。

5 保育事業

びーのびーのが大切にしてきた子育て支援の延長にある2、3歳児を対象にした小グループの保育事業として平成25年4月に預かり保育『まんまーる』をスタートさせるために準備を進めてきた。

6 事務局移転

7月1日より、港北区大倉山5-40-3 大倉山壺番館207号室へ移転。